地球家族発!! 子育ての知恵袋

保育園での異文化体験エピソード

その27 スーホの白い馬

イラスト・うつろあきこ

新入園のモンゴル出身のOちゃん。0歳児なのでまだ言葉は出ませんが、保育士が「こっちだよ」といえば向いてくれ、コミュニケーションがとれています。両親とも勤務地が遠いため、送迎はお祖父ちゃん。孫のために遥々（はるばる）モンゴルからやってきたのですが、日本語が話せません。そこで登場するのが身振り手振りのボディーランゲージです。

お祖父ちゃんは、虫に刺されて赤くなったOちゃんのほっぺを指差し、虫のまねをしてチクンと刺す様子を表現、保育士もほっぺに手を当て、痛がる様子を表現します。まるで、寸劇を見ているようです。

ところで、私たちは誰もモンゴルに行ったことがないので、どんなところなのか想像しています。さぞかし寒いところなのだろうと思っています。というのは、Oちゃんはとても厚着で、どう見ても日本の子どもたちに比べていつも2枚くらいは多く着てきます。今年の日本は天候不順でいつまでも寒い日が続きましたが、それにしてもちょっと多すぎます。

きっと、とても寒いところだから厚着に慣れているのだろうと思いながら、『スーホの白い馬』が走るモンゴルの大草原を想像しています。

（新島一彦／埼玉県北本市・中丸保育園理事長）

「地球家族ネットワーク」へのお誘いとエピソードのお願い

保育は、世界中の人と仲よく生活できること（平和）を伝える役割があります。

そこで、国際交流や外国籍の子どもたちの保育について情報交換をしたい方は、「地球家族ネットワーク」に参加してみませんか?!

また、外国籍の子どもを受け入れて、心に残るエピソードがありましたら、ぜひお寄せください。

全私保連 保育国際交流運営委員会
TEL 03-3865-3880／ FAX 03-3865-3879
E-mail：ans@zenshihoren.or.jp